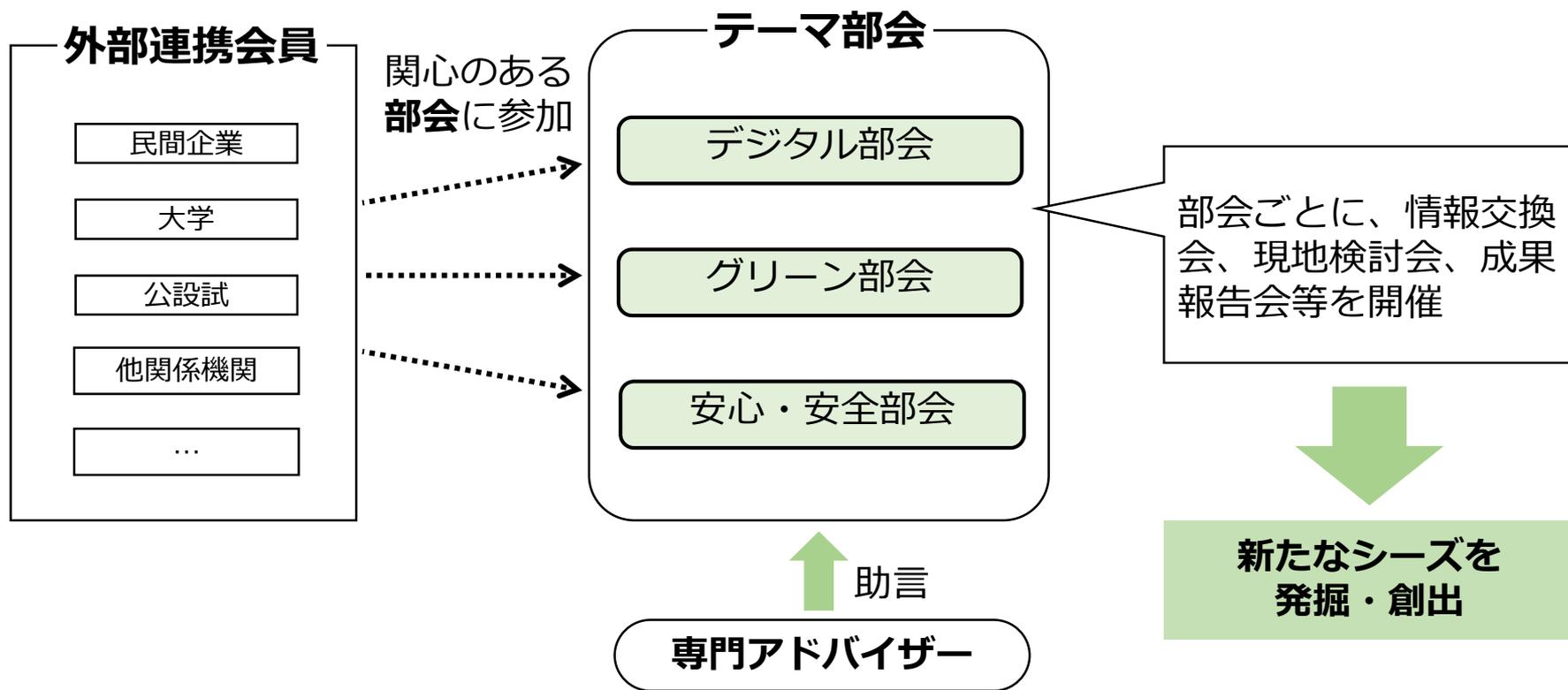


多様なシーズの集積（テーマ部会）

多様な外部連携会員や農林総合技術センターのスタッフが、意見交換や現地検討会等を通じて、シーズを集積・ブラッシュアップし、新たなシーズを発掘・創出するしくみを構築

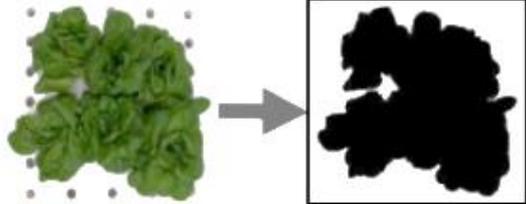


今後も、農林業の課題に応じたテーマ部会を設置します。

デジタル部会（イメージ）

生産性を飛躍的に向上させる可能性を持つ各種のデジタル技術の開発に向けて、分野横断的にシーズのブラッシュアップを図る

取組の例



野菜の画像から生育を診断



各ステージの画像診断から
出荷時期を予測

様々な画像診断技術

野菜の生育解析

病害虫発生状況

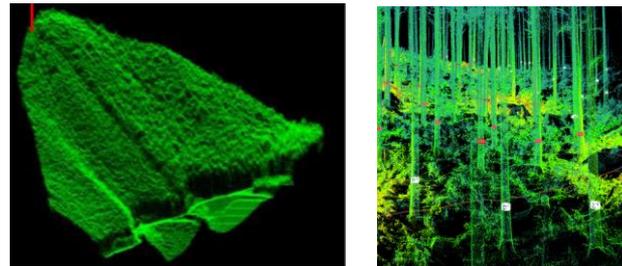
花の出荷予測

森林の資源解析



病害虫の発生画像から防除時期を診断

航空レーザ・地上レーザ等による
森林資源のデジタル化（可視化）



作目や分野を超えた画像診断技術のノウハウ
を結集し新たなシーズを発掘！

グリーン部会（イメージ）

森林のCO2吸収源対策や、農業生産における未利用資源の活用等を通じ、脱炭素化や環境負荷軽減に貢献できる新技術開発に向けて、分野横断的にシーズのブラッシュアップを図る

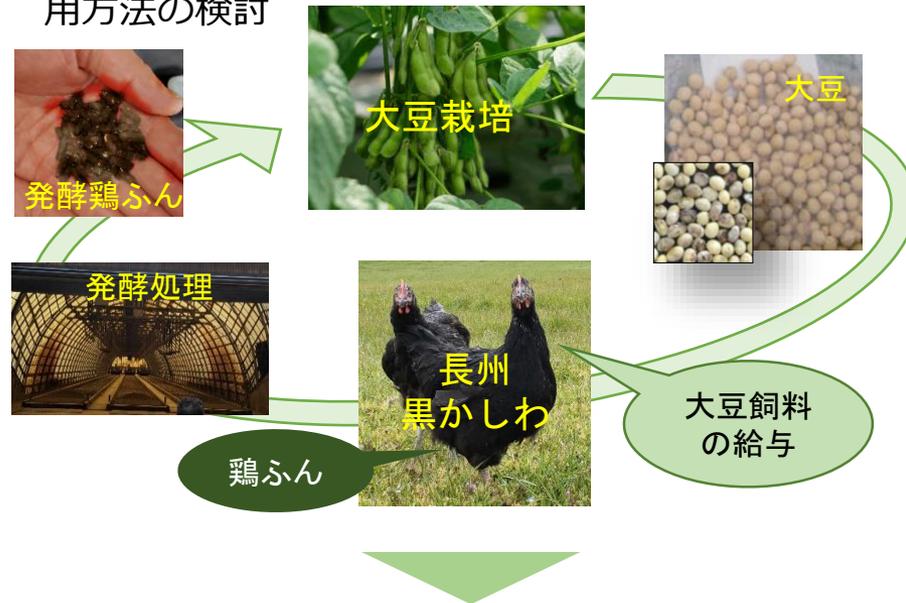
取組の例

- 山元へ利益還元を図る低コスト再造林技術の確立
- エリートツリー供給体制の確立



「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を推進し、森林のCO₂吸収源の役割を最大化！

- 肉用鶏への大豆の多給技術の確立
- 大豆栽培における発酵鶏ふんの適切な施用時期および施用量の解明
- 生産者圃場において利用可能な発酵鶏ふんの施用方法の検討



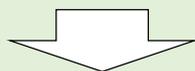
規格外の廃棄大豆や、鶏ふんなど、これまで利活用されてこなかった資源を有効利用し、環境負荷軽減を追求！

安心・安全部会（イメージ）

近年頻発化・激甚化する自然災害に備え、県民の安心・安全を守るために貢献できる新技術開発に向けて、分野横断的にシーズのブラッシュアップを図る

取組の例

局地的な集中豪雨等により山地災害が多発化



急傾斜でアクセス困難な小面積崩壊地（1 ha以下）の緑化技術の開発が急務

放置すると、さらなる被害が...



小型で遠隔操作が可能なドローン
を活用した緑化技術の実証



- ・ 開発技術の現地実証
- ・ 植生状況、遷移状況の検証
- ・ ドローン緑化技術マニュアル作成

小面積崩壊地の解消

県民の暮らしの
安心・安全を確保